

アル・アクサ洪水第505日目：イスラエルがパレスチナ人囚人の釈放を無期限延期



Palestine Chronicle、2025年2月25日、脇浜義明訳 *脚注は訳注

ラファフの横断幕には、「あなたの靴を脱ぎなさい。土地の隅々まで殺された者の血で汚れている。」と書かれ、ガザの民間人に対する残虐行為を強調していた。

主要事項

- *第7次イスラエル人質が解放され、数百人のパレスチナ人囚人が釈放される。
- *イスラエル軍は西岸地区への攻撃を強化、市や町や村や難民キャンプを次々と襲っている。

最新情報

2月23日 2:08am(パレスチナ時間)

*ネタニヤフ首相府声明：我々は次の人質グループが屈辱的な儀式なしに解放されるのを確認できるまで、パレスチナ人囚人の釈放を延期することに決定した。ハマスは意図的に人質の人間の尊厳を辱め、人質を政治的プロパガンダに利用している¹。

*イスラエル・メディア (アル・ジャジーラの報道)：パレスチナ人囚人はバスに乗せられたが、後に下され、刑務所に戻された。

*アクシオス (イスラエル政府高官を引用)：パレスチナ囚人釈放の延期は、ネタニヤフが開いた二度の安全保障会議の後で、決定された。安全保障機関の指導者は延期をしないことを勧告した。

¹ パレスチナ囚人クラブは第7次捕虜交換でイスラエルがパレスチナ人釈放を延期した決定を「組織的テロ」と非難した。いったん釈放バスに乗った囚人は元の刑務所へ戻され、病気や怪我人の囚人のために準備していたパレスチナ赤三日月社は準備を解いた。

*被拘禁者及び元被拘禁者問題委員会：イスラエル当局がパレスチナ人囚人の釈放を無期限に延期したことを確認した。

2月23日 12:38am

*囚人問題担当局：囚人問題担当局は釈放されるパレスチナ人囚人を積んだバスの到着を待つ態勢を整えていると発表した。

*アル・ジャジーラ：情報筋がアル・ジャジーラに語ったところによると、イスラエル占領軍諜報機関が、西エルサレムのマスコビヤ拘置所（「ロシア屋敷」と呼ばれる地下牢がある）のパレスチナ囚人の家族に、釈放は間近だと通知した。

2月23日 12:34am

*イスラエル・ハヨム：今日、イスラエル人質シリ・ビバスの遺体がイスラエルに渡されたが、遺族はネタニヤフ政府の代表は葬式に参列するなど要求した。

*イスラエル軍：イスラエル軍は空軍がシリア・レバノン国境の複数の輸送路を爆撃したと述べた。

*アル・ジャジーラ：情報によると、イスラエル占領軍が西岸地区ヘブロン以北西にある町ベイト・カヒルを、催涙ガス弾やサウンド・グレネードを使って、襲撃した。

2月22日 10:23pm

*カン：イスラエルが合意の第一段階の第7次捕虜交換でパレスチナ人捕虜の釈放を遅らせているのは、ハマスが人質シリ・ビバスの遺体だと偽ってパレスチナ人の死体を渡したことへの対応である。

*フォックス・ニュース（米国総省の官僚の発言として）：アンサラッラー（フーシ派）は初めて地对空ミサイルを米軍の多用途戦闘機F-16に向けて発射した。戦闘機はイエメン沖紅海を飛行していたが、ミサイルは当たらなかった。同日アンサラッラーは米軍のMQ-9無人機にミサイルを発射した。これらのことはアンサラッラーの戦闘力がエスカレートしたことを示す。アンサラッラーへの対応策が現在上層部で行われている。対テロ戦争を発動するか従来の空爆を持続するかのどちらからなるであろう。

*カン：今日の安全保障会議は来週に採る行動とガザ停戦を継続するかどうかを協議するであろう。

*チャンネル14：イスラエル軍は西岸地区に戦車を展開する計画で、これは2002年の守りの盾作戦以来初めてである。

*ロイター電：ドイツのアンナレーナ・ベボック外務大臣は、最近の事態の展開を見ると捕虜交換第二段階に移るために全力を傾けなければならないと痛感する。人質の中にはドイツ人もおり、彼らの命が心配だからである。

*アヴィグドール・リーベルマン：一度で人質全員を解放させる交渉を望む。

2月22日 7:51pm

*西岸地区ハマス指導者ザハール・ジャバリーン：我々は未解決の問題を解決するためにカタールとエジプトに仲介者と協力している。我々は力を失っていないし、イスラエルを合意に従うようにさせる。ネタニヤフは、戦争を終結させると自分を裁く裁判が待っているのだ、何やかやといちゃもんをつけて戦争を継続させようとしているのだ。我々は仲介者と国際社会に合意の第二段階を行う用意があると伝えた。我々は最初から一度に全部の捕虜交換を提案していたが、ネタニヤフがだらだらと長引かせる交換にしたのだ。我々はイスラム・レジスタンス運動ハマスの目標だけでなく、パレスチナ人の目標を達成するつもりだ。我々は15か月間、戦争終結とイスラエル軍にガザ撤退を求めて、交渉してきた。イスラエルが一度に全員の捕虜交換を望むなら、こちらはその用意が整っている。

*イスラエル・メディア：イタマール・ベン・グヴィル国家安全保障大臣は「ハマスに対して地獄の扉を開けて、戦争へ戻り、破壊し、復讐する」ときが来たと言った。

*イスラエル首相府：これまで、192人の人質を取り返した。そのうち45人は遺体で、残る147人は生存者として。残る人質は63人である。政府は生存する人質を全員家族のもとに届け、死者を尊厳ある弔いをする決意である。

2月22日 7:42pm

*人質家族会：ガザで集会を開いた家族会は次のように述べた。「63人の人質が地獄のようなガザにもう505日間も拘留されている。ネタニヤフは自分の連立内閣の極右パートナーの機嫌取りのために、人質を犠牲にして、捕虜交換を妨害している。いったいトランプ大統領やワイトコフ特使がネタニヤフより人質解放に熱心なのはどうか？ ネタニヤフが捕虜交換の第二段階を妨害し、まだハマスの捕らえられている人質を見捨てていることが、私たちの耳に入ってくるし、私たちも感じている。閣僚の中にはガザにおけるハマスの支配を潰すことに全力を注げと勧告する人もいるが、それは残る人質への死刑判決になる。まず人質解放を最優先し、他のことはその後から取り組めばよい。

*イエディオト・アハロト：今日のネタニヤフ首相の協議会はパレスチナ囚人の釈放の件と人質の遺体の引き取りの完了が中心議題である。

2月22日 5:52 pm

*イスラエル・ハヨム：イスラエル刑務所局はパレスチナ人釈放について政府から何の指示もないと言った。

*チャンネル12：パレスチナ人囚人の釈放に関する決定は安全保障会議が終わってから行われる。

*カン：パレスチナ人囚人釈放の件については今日の安全保障会議がすむまで先延ばしになる。安全保障会議でそれに関する態度と人質の遺体引き取りの件が協議される。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラの記者はパレスチナ人囚人の家族がガザのヨーロッパ病院の前に集まり、捕虜交換で釈放される予定の囚人の到着を待っている光景を報道した。

*パレスチナ・メディア：西岸地区ナブルスの旧市街で発砲と爆弾の音が聞こえたという情報がある。

*ハマスのイスラエルがビバス家の子どもはハマスによって殺害されたという主張は偽りで根拠がなく、我々のイメージを悪くし、イスラエル軍の犯罪を正当化するデマ宣伝だ²。

*アクシオス：米国のスティーヴン・ワイトコフ特使は第二段階交渉を指導しているイスラエルのロナルド・ダーマー戦略問題担当大臣と会い、さらに主要な仲介者であるカタールのムハンマド・ビン・アブドゥルラフマン・アル・サーニー首相兼外務大臣にも会った。ワイトコフは第一段階の善意が第二段階にも受け継がれることを希望すると言った。しかし、今のところ関係者が第二段階に向かうかまたは第一段階を引き延ばす気配がない³。

2月22日 3:41 pm

*人質家族会：第一段階は終わったが、合意事項の実行を続ける体制にない。人質全員を取り返す唯一の方法は合意事項を遅らせずに即刻全面的に実行することだけだ。

*イスラエル軍：赤十字社は人質ヒシャム・アル・サイドの身柄を受け取り、身柄はイスラエル軍への引き渡し地点へ向かっている。アル・カッサム旅団はアル・サイドがパレスチナ系イスラエル人であることから、それに敬意を払って、セレモニーをしないで引き渡したと発表した。

*イスラエル・ハヨム：ハヨム紙はこれまで釈放されたパレスチナ人は「我々は敵を追跡し、捕まえ、敵が絶滅するまで後には引かない」という文言を記した囚人服を着せられていたと報道した。さらに同紙は囚人に着用させたブレスレットが更新され、「我々永遠の民族は起きたことを決して忘れない。我々は敵を追跡して捕まえる」という文字が刻まれていたと報道した⁴。

2月22日 2:36 pm

*ネゲブ・アラブ人委員会声明：ネゲブ・アラブ人最高運営委員会の委員長は、アル・カッサム旅団が人質のヒシャム・アル・サイドをセレモニーなしで引き渡したことは、イスラエル内パレスチナ人に対する敬意を表した

² 1月19日に発効したガザ停戦の一環として2月20日にハマスは4体の遺体を引き渡したが、その中に10・7のアル・アクサ洪水作戦で母親とともに人質に取ったビバスの2人の幼い子どもが含まれていた。

³ 事実上、ハマスの側は第一段階の合意を実行しているが、ネタニヤフが第一段階を引き延ばし、第二段階に新たに不可能な条件を付けて、実施できないようにしている。

⁴ これに対し、パレスチナ人囚人の方も、釈放される前、牢獄の壁に、「我々は許さない。我々は忘れない。我々は降伏しない」と落書きしたとイエディオト・アハロトが伝えている。 — [@PalestineChronicle](#)

ものだと述べた。委員長はイスラエル内パレスチナ人⁵はカッサム旅団のメッセージを誇りと名誉をもって受け取り、それを共通の運命と団結の表現と見做すと付言した。

2月22日 2:02 pm

*ロイター電：イスラエルの野党指導者ヤイル・ラピッドは「政府は自分の苦痛よりは人質の生命を選択し、捕虜交換の第二段階に進むべきだ」と言った。

*イエディオト・アハロト：パレスチナ人の囚人たちは、釈放前に独房の壁に「私たちは許さない、忘れない、ひざまずきません」と書いた。

*ロイター電：イスラエルのヘルツォーク大統領は、「あらゆる手段と方法で、拉致被害者をガザから帰還させるためにできる限りのことをする義務がある」と述べた。さらに、捕虜交換を完了させることは道徳的な行為であり、ガザにいるすべての囚人を帰還させなければならないと付け加えた。

*イスラエル軍：イスラエル軍は、ガザ中心部から釈放された3人の囚人を受け入れることを確認した。占領軍は、後に赤十字に移送される最後の囚人を受け入れる準備をしていると付け加えた。

2月22日 12:50 pm

*パレスチナ・メディア：パレスチナ抵抗運動から赤十字社へ6人のイスラエル人人質の引き渡し式がガザ回廊中部のヌセライトで始まった。

*アル・ジャジーラ：情報筋がアル・ジャジーラに語ったところによると、アル・カッサム旅団はイスラエル内パレスチナ人の人質ヒシャム・アル・サイドを、イスラエル内パレスチナ人への表敬として、セレモニーなしで引き渡した⁶。アル・カッサム旅団は、イスラエル軍はアル・サイドがイスラエル軍兵士であるにも関わらず、パレスチナ系イスラエル人であるために10年間も見捨ててきたと付言した。

*パレスチナ・メディア：赤十字社の車両が人質を受け取りにヌセライトに到着した。

2月22日 11:51 am

*イスラエル軍ラジオ放送：赤十字社がガザ回廊中部のヌセライトへイスラエル人人質を受け取りに向かった。一方、イスラエル刑務所局はオフエル刑務所とケツィオット刑務所からパレスチナ囚人を釈放する準備をする⁷と発表した。

*チャンネル12：赤十字社の最初の評価では解放された人質は健康体である。

*ハマス：我々は今日合意に従って6人の人質を解放したが、イスラエルはまだ自分たちの合意事項の実行を遅らせている。引き渡しは我々の人民とレジスタンス各派の民族的統一を表しているが、イスラエルの遅延は内部分裂と相互非難合戦を表している。イスラエル国民には二つの選択肢しかない。人質を棺桶で迎えるか、それとも我々の条件に従って生きている人質を受け取るかの二つである。我々は第二段階の実行の用意があり、停戦とイスラエル軍撤退を含む包括的捕虜交換の準備を整えた。我々はイスラエルに合意を破るなど警告し、人質帰還の唯一の道は交渉であると強く言った。ガザでの敗北を隠すために西岸地区で虐殺を行うネタニヤフのやり方はパレスチナ人の強い意志を挫くことはできない。我々は宗教的・倫理的価値観に基づいて人質を処遇しているが、イスラエルはパレスチナ人囚人を拷問と虐待で抑圧している。イスラエルが他国へ移送釈放した囚人に会いに行く家族の移動を阻止したが、これは合意違反であり、自らの敗北の表現である⁷。我々人民とレジスタンスは、エルサレムを首都とするパレスチナ国家の樹立まで、領土と聖地を守る戦いを続ける。

⁵ ネゲブ・アラブ人はベドウィン族で、イスラエル国民で、イスラエル国軍に志願できる。ヒシャム・アル・サイドはベドウィンで、10年前にハマスに人質として捕らえられた。ハマスは彼をイスラエル軍兵士としているが、兵役を解かれた民間人であるという説もある)

⁶ 6人の人質の引き渡し式はヌセライトで多くの民衆とすべてのレジスタンス・グループの参加で行われたが、6人目のヒシャム・アル・サイドの解放はガザ市で、式典なしで行われた。

⁷ イスラエルは第一段階のパレスチナ人囚人の釈放で、交換協定に違反して、70人を安全保障上の脅威を口実にパレスチナの外へ移送した。

*パレスチナ・メディア：赤十字社の車両がイスラエル人質を受け取りにラファに到着した。ラファでは人質引き渡しの式典が始まった⁸。

*チャンネル13：赤十字社が人質を受け取りにラファへ向かい、イスラエル当局は赤十字から受け取る準備をしている。

*アル・カッサムからの情報：アル・カッサムの情報筋はラファでの人質引き渡し式典では、ラファでの戦闘でイスラエル軍から奪った兵器の展示を行うと言った。

*アル・ジャジーラ：アル・カッサム旅団からアル・ジャジーラが得た情報によると、イスラエル兵捕虜のアフラ・メンギストゥと10・7奇襲作戦で人質にしたタル・ショハムをラファで解放する。

*イスラエル軍：軍はガザの二か所で引き渡される人質を受け入れる準備をしている。

*パレスチナ・メディア：6人の人質の解放はラファとガザ中部の二か所で行われる。

*チャンネル12：引き渡された人質の遺体はシリ・ビバスの遺体であることを法医学機関が確認した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍特殊部隊が占領地エルサレム北部のカフル・アカブの空港通り地区を襲撃した。

⁸ アル・カッサム旅団は第7次捕虜交換の一環としてイスラエル兵2人を解放した。そのうちの一人のアフラ・メンギストゥは10年前にハマスが捕虜にしたイスラエル兵士である —@PalestineChronicle)